

三年

国語

Gアップシート

読む5

組

番・氏名

★新聞記事を読み比べ、書き手の考え方を捉えよう

◇学級に複数の新聞を置いてある中田さんの学級では、ある時、同じ内容を扱った記事でも新聞によって書き方が違うことに気がつきました。そこで、それぞれ記事を選んで比較してみることにになり、中田さんは湧水祭りの記事を選びました。

雨に負けない熱気

石割市湧水祭り 盛大に開催

九月六日、石割市では伝統の祭りである湧水祭りが行われた。当日は雨模様で天気であったが、集まった市民や見物客の熱気が町中にあふれ、悪天候をものともせずに盛り上がった。

九月六日、石割市で湧水祭りが行われた。この祭りは明治から行われている伝統の祭りで、当時市内の神社にあった井戸の神様を祭ったもの。戦時中の中断

期間を除いて、今年が百回目となる記念の祭りとなった。当日はあいにくの雨模様であったが、運営委員会は昼前に開催を決定。御輿や

山車には一部カバーを掛けたの運行となったが、浴道に詰めかけた見物客は伝統の祭りを存分に楽しんだ。運営委員長の橋場直樹さん(54)は「この天候だったが、市民みんなの気持ちで成功させることができたと思う。皆さんの協力に感謝したい」と語った。見物に

来た市内の主婦渡辺洋子さん(27)は「毎年楽しみにしている。中止にならなくて良かった」と喜んだ。

岩手新聞 201*年 9月 7日

記事B

市民の楽しみに“水”を差す

石割市湧水祭り 雨天の開催

9月6日、石割市では毎年恒例の「湧水祭り」が行われた。多くの市民や観光客を集めた伝統の祭りであったが、あいにくの雨で水を差された形となった。この日を楽しみにしていた見物客からは「残念」という声が聞かれた。

●覚悟の決断

九月六日昼前、湧水祭り運営委員会は、小雨の降る空を見上げながら祭りを決行することを決めた。気象庁によれば午後からも雨模様の予報だったが、百周年を迎える伝統の祭りを中止にはできなかった。結果として祭りの全日程は無事に終えることができたが、御輿や山車にはカバーが掛け

●開催方法に疑問

御輿会の会長下山貞春さん(74)は「無事に開催できたことは嬉しいが、これから雨に濡れた御輿を修復するのが大変」と漏らす。杉山賢治石割市長(47)は「悪天候の場合は延期も視野に開催の方法を考えるべきでは」と疑問を呈した。

陸奥日報 201*年 9月 7日

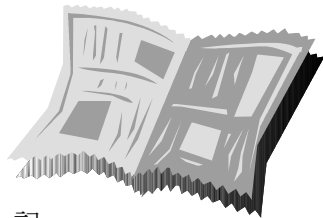
問一 記事の中に、「悪天候の中だったが、思い切って祭りを行った」ことを漢字二文字で表現した言葉があります。「行う」と似た意味のその言葉を抜き出しなさい。

【語句の用い方など書き手の工夫に注意して読む】

問二 二つの新聞は、同じ事実を別な見方で取り上げ、記事にしています。どのような事実を取り上げているか、ア～エから一つ選びなさい。また、その事実からそれぞれの書き手がどんな考えを持ったか、a～dから一つずつ選びなさい。

【文章の論理の展開の仕方をとらえて内容を的確に理解する】

<p>ア 雨の中で湧水祭りが行われた。</p> <p>イ 御輿や山車にカバーが掛けられた。</p> <p>ウ 湧水祭りが百周年を迎えた。</p> <p>エ 湧水祭りが盛り上がった。</p>	<p>a 不十分な状況での開催となり、不満だった。</p> <p>b コンディションが悪く、危険が多かった。</p> <p>c 伝統の祭りが途切れることなく続き、安心した。</p> <p>d 参加者の熱気と協力で盛り上がり、大成功だった。</p>
--	---



記事B	記事A	事実

問三 中田さんは二つの新聞を読み比べ、それぞれの構成の特徴の違いを書き出しました。そのことについて①～②の間に答えなさい。

【構成や展開の特徴や効果をまとめ、評価する】

- ① それぞれどちらの新聞の構成について述べたものか、ア～エを全て当てはめなさい。
- ア 見出しの文字をより大きく記し、読み手の視線を引きつけている
- イ 小見出しを付け、記事の内容を読み手がより分かりやすくしている
- ウ 見出し、リード、記事が右上から左下に順番に読めるようにしている
- エ 見出しやリードを横書きにすることで、紙面にメリハリをつけている

記事A	
記事B	

- ② 中田さんは書き出した特徴の中に「読み手が忙しい時に、短い時間で情報を得られるようになるための新聞の工夫」があると考えました。その特徴を持った記事をA、Bから選び、特徴を①のア～エから一つ選びなさい。

記事	
特徴	

問四 中田さんは二つの記事の文末表現に注目し次の表のようにまとめ、このことから気がついたことを後の文章のようにまとめました。文章中の空らんに入る言葉を後の語群から選んで書きなさい。

【表現の仕方の特徴や効果をまとめ、評価する】

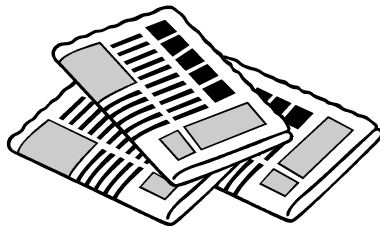
記事	記事A	記事B
文末表現	<ul style="list-style-type: none"> ・祭ったもの ・祭りとなった ・決定 ・楽しんだ ・語った ・喜んだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・決めた ・中止にはできなかった ・アピールできなかった ・漏らす ・疑問を呈した

【中田さんが気付いたこと】

二つの記事の文末表現を比較すると、記事Aには(①)な表現が多く使われており、記事Bには(②)な表現が多く使われているのがわかる。このことから書き手が(③)を記事Aでは(①)に、記事Bでは(②)に捉えていることを読み取ることが得きる。

【語群】	断定的	えん曲的	肯定的	否定的
	決定的	積極的	消極的	

- ア 新聞記事として祭りを取り上げること
- イ 山車や御輿が雨に濡れてしまったこと
- ウ 湧水祭りが長く続いていること
- エ 雨天の中で祭りを開催したこと



③	②	①

◇中田さんは二つの記事を読み比べて感じたことを、次の文章のようにまとめました。

私は二つの新聞記事を読み比べてみて、同じ出来事を扱った記事でも違った書かれ方をしていることがわかりました。両紙とも雨の中で行われた湧水祭りを取り上げていますが、そこから読み取れることは正反対です。報道内容はもちろんのこと、取り上げるインタビュにも違いがありました。これから新聞を読むときには、() 読んでいきたいです。

問五 この文章の() に、自分の立場を明らかにして文章をまとめる内容を入れたいと思います。ここに記入するものとして最も適当なものをア～エから一つ選びなさい。

【情報を比較し、述べられている内容について、立場を明らかにして自分の意見をもつ】

- ア 新聞にも書き手の意図があることに注意して
- イ 新聞は誰に取材するかで内容が変わることを意識して
- ウ 新聞には難しい言葉が多いので辞書で調べながら
- エ 新聞は事実を述べないこともあるのを忘れずに

【読む5 新聞記事を読み、書き手の意図を捉えよう】

- 問一 決行 問二 事実…ア 記事A…d 記事B…a
問三 ①記事A…ア、ウ 記事B…イ、エ
②記事…B 特徴…イ
問四 ①肯定 ②否定 ③エ 問五 ア

解説

問一 「行う」と似た意味の言葉を探すと「開催」「決行」が見つかりますが、「悪天候の中

だったが、思い切って祭りを行った」という意味を持っているのは「決行」になります。

似た意味でもどの言葉を使うかに、書き手の意図が込められます。

問二 この記事で扱っている話題は「湧水祭りが行われたこと」で、そこに「今年は雨の中で」

という部分加わっています。それに対する書き手の考えは記事Aが「a」、記事Bが

「d」で、それぞれの記事はもちろん、見出しやリードからも判断することができます。

問三 新聞の紙面には、読み手が読みやすくなるような様々な工夫がされています。短時間で

内容を知りたいときには「見出し」↓「小見出し」↓「リード」↓「記事」の順番で読

んで行くといいでしょう。

問四 記事Aには「楽しんだ」「喜んだ」の表現があることから「肯定的」な様子を読み取る

ことができ、記事Bには「くなかつた」「漏らす」「疑問を呈した」の表現があること

から「否定的」な様子を読み取ることができます。

問五 同じ事実を扱っても記事の中身が違ったものになるのは、書き手の意図が記事に表れる

ためです。書き手の意図には取材対象（インタビュー相手等）の選択も含まれます。